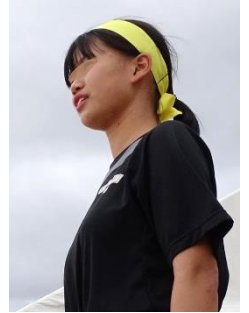




限界を越えろ！（3）

生徒のみなさんへ

- 体育大会の振り返り ● 体育大会を振り返った3年生の感想文を一部紹介します。



複雑で困難な多くの動きを一糸乱れず見事に披露した3年生の集団演技 全ての動きを把握し爽やかに号令をかける〇〇リーダー

3年1組 〇〇さん

（前略）体育大会の実行委員を決めようとなった時、元々何かの委員になってみたかった私にとって、良い機会だと思いました。そこで何回も考えたり友達と話したりして副ブロック長になると決めました。決まった時は、自分で良かったのかな、全学年をまとめることができるかなと不安がたまっていく日々でした。だけど、実行委員で集まってスローガンを決めようとなった時、自分はみんなをまとめる立場なんだと実感し、自分の本気を出して取り組もうと決めました。日を増すごとに勝ちたい、自分だけが良ければいいという考えじゃなく、集団としてのチーム作りをしなければならぬと大会に向けて熱意があふれてきました。ブロック練習が始まると、自分たちが前に立って下級生を引っ張っていくことで、様々な課題や良い点が見つかっていきました。初めの練習では返事も小さく動きも遅い、そんな状況から、1番と言っていいほどまとまりのある返事も大きいブロックに成長したことが、私にとって大きな喜びでした。ブロックでの声出しや円陣を組む時、そんな一つ一つがすごく印象に残っています。（中略）私はこの集団演技で、全員の心を一つにして何かをやり遂げること、一人でもやりたくないと言われれば、集団に乱れが出る事など、学んだ事がたくさんありました。この学んだ事をこれからの人生に活かしていきたいです。（中略）この体育大会では、2年生の時と比べて自分も大きく成長した場であったし、3年生全員も大きく成長したと思います。体育大会と聞くと、ただ競技を楽しむ場、学年と関わる場というイメージをもっていたけど、今思えば、人間として成長させる場であり、日頃の集団生活を活かす場であったと思います。この場で身に付けた力を大切にして、高校生活に活かします。一生の思い出になった最高の体育大会です!!!



3年2組 〇〇さん

（前略）ブロック練習一日目、副ブロック長の私は不安に襲われた。自分に出来るだろうか、みんなは付いて来てくれるだろうか、どうすればブロックの士気を上げることができるだろうか、裏でこそ言われたいだろうか、不安はあふれて止まらなかった。青ブロックの全員を指揮台の上で見渡した時、予想以上のプレッシャーが襲ってきた。「足がすくむ」のを初めて体験した。練習を終えて、自分がみんなに話したことはよく覚えていない。家に帰っている途中でなんて惨めだったのだろう、恥ずかしいという思いが込み上げて、隣にいた友だちに弱音を言ってしまった。すると、その友だちは「みんなの前で自分の思っていることをスムーズに話せる人とかおらんよ。今日はちょっとスムーズやなくても、明日スムーズにすればいいだけやん！手伝うよ!」と言ってくれた。その時、気付かされた。みんなの前で進行するのは自分一人でも、自分を支えてくれる人、声かけを行いブロックをまとめる体育委員や実行委員など、沢山の人の力でこの体育大会は動いているのだと。（中略）私たちの学年は全員が一つの目標に向かって一つのことを成し遂げることがなかった。その上で、集団演技はとてもハードルの高いものだった。



たと思う。その中でも斜めに進んで行く上で縦の列と横の列をそろえるのはとても難しく、何度もやり直しをした。何度も練習していく中ですごいと思ったのは、みんな疲れているはずなのに「だるい」といった言葉が聞こえて来ず、むしろ逆に士気が上がっているように見え、このような雰囲気のできるみんなのチームワークに感動した。(中略)この大会では、とても大きな体験をし、自分自身がとても成長できる場になったと思う。また、友だちの心強さ、頼れる人がいることの安心感も同時に味わうことができた。自分が進んで行く将来には、まず受験という壁がある。その壁を越えるためにこの大会で学んだ事を忘れず、お互いが支え合い高め合っていきたいと思う。

3年3組 ○○ さん

体育大会を振り返ってみて思ったことが五つあります。一つは集団の結束力が強まったということです。同じ環境、同じ条件の中での競技の練習で高め合ったり、集団演技の練習の中でも、足の速度・歩幅から意識して良いものにしていこうと話して意見を出し合ったりと、様々な場面から、この三年間最後の体育大会というものがとても大きな団結する場になったと思えることが出来たからです。二つ目は、忍耐力が強くなったということです。様々なテスト・試験や委員会の仕事と同時進行で取組が行われたため、いろいろなことを上手くこなしていかなければなりませんでした。その中で我慢をすることがあったり、身体の疲労がたまったりと、日頃にはない体験が多くありました。しかしそんな中でも、この大会をより良いものにしていこうという考えの元、頑張る力、耐える力が付いたと感じました。三つ目は、様々な人との交流の場になったことです。今のコロナの状況の中で他学年との交流の場が少なくなっていたため、今回初めて接した人がとても多かったです。私は体育大会実行委員、そして副ブロック長を務めたので、他学年の生徒への指導をする場面や声かけをする場面が多くありました。大会本番だけでなく、練習の中での交流が多くあり、話しかけられることもあったので、他学年との交流をする良い機会となりました。(中略)これらのことを中学校の思い出としてずっと心の中に残して、これからの進路や人生の支えにしていければ良いと思いました。そして、今のこのクラスで過ごせる期間はあと少しですが、今回身に付けた「結束力」「忍耐力」「基礎体力」を大切に、さらに良い学校にしていき、高校生活や大学、そして、社会でも活かせるような「力」をもっと付けていきたいと思います。(後略)



リーダーは最初からそこに居るわけではありません。誰よりも多くの失敗や悩みをもち、それを跳ねのけようとする勇気、乗り越えるための努力、相手の気持ちや変化をキャッチしようとする姿勢、思いやりをもち互いに励まし支える仲間、そこから生まれる絆、そのようなものがあって初めて真のリーダーが生まれるということが、多くの三年生の皆さんの文章から感じ取ることが出来ました。また、同時に、自らもリーダー学年の一員として懸命に努力を重ね、自身や集団の成長を実感し、次に活かそうとするたくましい姿勢がたくさん見受けられたことを大変頼もしく、そして心強く思います。

保護者の皆様へ ～今後の予定～

- ・10月31日(月)5・6校時 文化週間オープニング
- ・11月1日(火)展示見学
- ・11月2日(水)5校時 文化週間エンディング、10:00 家庭教育学級人権講演会(筒井市民センター)
- ・11月7日(月)9:30 家庭教育学級高校見学
- ・11月11~15日 放課後質問教室
- ・16~18日 期末考査